

# 謹賀新年 年頭のご挨拶



おおきく  
なっても  
このまちに  
いたい。

## 子どもたちが誇りをもてる ふるさと創造 沼田町を目指して！

### 沼田町長 横山 茂

新年、明けましておめでとうございます。輝かしい初春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

私は、昨年4月の町長選挙におきまして、町民の皆様や各団体からの力強いご支援、ご厚情を賜り、町政運営に携わる機会を与えていただくことになりました。責任の重さを痛感し、使命感と強い覚悟をもって町政運営にあたらうと決意を新たにしておりますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、本町の基幹産業であります農業につきましては、5月からの好天により生育が順調に進み、8月の大雨で一部被害を受けましたが、水稻につきましては収量品質ともに平年並みとなりました。畑作物に関しても、大豆、ソバが播種後の水不足による出芽遅れにより生育にばらつきが生じましたが、おおむね平年並みの反当収量となりました。

また近年、全国的に災害が頻発する中、今後の災害対策として各施設に非常用電源を設置する等、町民が安心して暮らせる体

勢を整え、特に道内初のトイレトレーラー導入のためのクラウドファンディングに多くの寄附をいただき感謝申し上げます。本町での災害時の使用は勿論のこと、災害に見舞われた被災地への応援などプロジェクトが日本全国に広がっていくことを願っております。

JR留萌本線利用促進につきましては、廃線方針が示される中、「明日萌の里20年記念イベント」や「まちづくりの視点からみた鉄道を考えるシンポジウム」等を開催し、留萌本線存続に向けて様々な挑戦を町全体で取り組む決意でありますので、皆様のご協力をお願いいたします。

昨年は元号が平成から令和に変わり、新しい時代に移るとともに「沼田町第6次総合計画」がスタートいたしました。長期的な展望をもとに、目指すまちの将来像を示す、向こう8年間の計画期間について、町民の皆様とともに知恵と工夫を結集し「オールぬまた」による笑顔の絶えないまちづくりを育みながら、様々な課題に全力で立ち向い、将来にわたって住み続けられるまちづくり、子どもたちに帰ってきてもらえるような故郷づくりを目指して取り組んでおりますので、引き続き一層のご協力ご支援をお願い申し上げます。

結びに、令和2年が町民の皆様にとって健康で充実した1年となることを心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 沼田町議会議長

# 小 峯 聡



新年あけましておめでとうございます。ご家族皆様が、ご健勝で新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、町民の皆様方には日頃より町議会に對しまして、深いご理解とご協力を賜っておりますことに對し厚くお礼申し上げます。

昨年は、6月の干ばつで畑作物の生育に大きな影響が出てそばや大豆が減収しましたが、水稲は作況指数が105とやや良となり、まずまずの年となりました。しかし、農家ごとに考えると良かった人、悪かった人と差があるようです。9月には千葉県で台風15号の大きな被害が出たすぐ後に、台風19号の大雨により河川の堤防が決壊し、関東及び長野県各地で住宅や農地が浸水し、大きな災害となりました。近年、地球規模

の温暖化の影響なのか、偏った天候が想定を超えた豪雨や突風などを引き起こし甚大な被害をもたらしています。本町も一部被害を受けた地域もありますが、いつ全町的な被害が出てもおかしくない状況ですので、普段からの備えが重要だと考えます。

元号が平成から令和の時代に移り、ラグビー・ワールドカップで日本がベスト8に入るなどお祝いムードの年でしたが、10月に消費税が10%に増税となるなど私たちの生活を取り巻く環境が変化した年ともなりました。

さて、令和元年5月より横山町政が始まり2年目の年となりますが、本町は人口減少、JR問題、公共施設の維持管理などたくさん問題を抱えています。町長も精力的に問題解決に取り組んでいます。どの問題も簡単に解決できるものではなく町民の皆様のご理解とご協力を得て、少しずつ解決していかねばならないと考えています。

議会としても今後も町民の負託にこたえ、沼田町に住む皆さんが幸せに暮らせるまちづくりに努めたいと考えていますので、皆様の変わらぬご指導・ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げますとともに、今年一年がよい年となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶いたします。

## 沼田消防団長

# 大 原 正 己



新年あけましておめでとうございます。

輝かしい令和2年の新春を迎え、町民の皆様には謹んで年頭のごあいさつを申し上げますとともに、日頃より消防団活動に對しまして、深いご理解とご協力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。また、団員を陰でのご支援いただいているご家族の方々に對しましても重ねてお礼をお申し上げます。

さて、新年号「令和」の希望ある明るい時代が始まり昨年を顧みますと、沼田消防団第1分団に23年間配置してました消防ポンプ車を町理事者並びに町議会のご理解のうえで新消防ポンプ車に更新をいただき、また全消防団員には災害安全装備品の新規購入も行っていただきまし

すとともに、町民皆様方が安全で安心して暮らせる町のためにも、我々団員は日々訓練を積み重ね技術の研鑽に努めてまいります。

昨年は、地球温暖化に起因する気候変動により自然災害が多発し、特に台風15・19号では関東・甲信越から東北地域を中心に河川の氾濫、堤防の決壊により多数の尊い命や貴重な財産が失われました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災された方々にも心よりお見舞い申し上げます。相次いで発生する自然災害の危険性が増大しているなか、地域防災を担う我々消防団への町民からの期待と信頼はますます高まっていると察しております。火災につきましては、12月1日現在で1件の火災が発生しましたが、早期の発見通報と敏速な対応をしていただき被害を最小限に抑えられました。また、深川地区消防組合管内の火災発生総件数は16件と前年同期(13件)より上回り残念な結果だと考えており、本年こそは無火災を目標に住宅用火災警報器の設置促進や適正管理並びに予防・警防態勢の強化を図ってまいります。

結びに当りまして、本年が災禍のない平穏な1年となりますとともに、町民皆様にとりまして幸多き良い年となりますよう心からご祈念を申し上げます。新年のご挨拶いたします。

深川警察署  
沼田警察庁舎所長

## 嵯峨 康成



新年あけましておめでとうございます。  
令和2年の輝かしい新春を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

沼田町の皆様には、平素から交通安全、暴力追放、青少年の健全育成のほか、犯罪予防のための諸活動にご参加をいただいていることに対し厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年の治安情勢を振り返りますと、沼田町では大きな事件・事故の発生はなく、また交通事故死ゼロの連続日数も更新されており、これも各関係機

関や町民の皆様のご支援ご協力の賜と深く感謝申し上げます。

しかしながら8月には大雨・洪水警報が発令され、豪雨による河川の氾濫が発生しており、また幸いにも特段の被害はありませんでしたが、町内で熊の出没が頻発した年でもありました。

一方で北海道全体に目を向けますと高齢者被害の特殊詐欺や悲惨な交通死亡事故が依然として後を絶えないなど警察を取り巻く諸情勢は樂觀を許さない状況です。

このようなことを踏まえ、深川警察署、そして沼田警察庁舎といたしましても「犯罪や事故のない安心して暮らせる北海道の実現」に向け、職員一丸となって地域の皆様に寄り添いながら治安維持に邁進する所存ですので、本年も警察活動に対するご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、沼田町の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。そして、新年のご挨拶とさせていただきます。



沼田弾薬支処長兼  
沼田分屯地司令

## 渡邊 克彦



新年明けましておめでとうございます。  
沼田町の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃から陸上自衛隊・沼田分屯地に対するご理解及び隊員に対する温かいご支援に對しまして厚く御礼を申し上げます。

昨年の8月1日付で沼田弾薬支処長兼ねて沼田分屯地司令を命ぜられ着任をいたしました、早速8月下旬の「夜高あんどん祭り」に、沼田自衛隊の名誉裁許長として地元元の伝統あるお祭りに参加させていただき光栄でした、その盛り上がりには大変興奮し、今年のお祭り

を心待ちにしているとところです。

さて昨年は、国内では台風により関東甲信越地方及び東北地方が甚大な被害を受けました。今までの想定を超える被害状況に、各種対処計画等の見直しが求められています。また国外では、米中の貿易摩擦、イラン核合意問題及び朝鮮半島情勢等、日本を取巻く環境は引き続き不安定な状況が継続しています。

このような中、沼田分屯地としてましては、地域の皆様の期待にこたえるべく、現態勢を維持しつつ、各種事態に適切に対応できるように全隊員・職員一丸となって任務に邁進してまいる所存です。

結びに、本年は沼田分屯地開設30周年を迎えます。これまでと同様、沼田分屯地に対する変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。そして、新年の挨拶とさせていただきます。

